

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	21	職員はより夜間眠れない利用者に対して話を聞いたりしているが、不眠の利用者に対して薬を使用しているケースが多いため、日中に活動するなど過ごし方に工夫し、薬に頼らない支援に努めることが望まれる。	不眠の利用者に対しては、一日の生活のリズムを付けるような取り組みを努力する。日中の活動量を増やすよう、体や頭を使い、出来るだけ昼、横にならないよう過ごし、夜間しっかりと休めるように支援する。	睡眠のパターンを観察し、睡眠の状態や不快な就寝環境は無いか？昼の活動量はどうか？などアセスメントする。不眠時には安心出来る声掛け、話を聞く。日中、頭や体を使うことを提供し、日を浴びるなど生活のリズムを作り昼夜の区別をしっかりと付けるよう支援する。	か月	
2	40	利用者や家族、近隣住民の参加を得て会議を開催している。会議の内容や外部評価の取り組み状況について具体的な説明が見られず、家族等参加者も理解していないため、会議録などを配布し説明も丁寧に行い参加者からの意見を引き出すなど、今後の運営に活かせるような取組みの期待したい。	運営推進会議の目的や内容を理解してもらい、気兼ねなく参加し、発言の場として活用出来るようにする。	入所時に運営推進会議の説明を十分に行い、開催月には案内を配布する。開催後は議事録を送付し、遠方や仕事で参加しにくい家族にも意見交換を出来るように配慮行う。	か月	
3	43	虐待や不適切なケアが見られた場合の具体的な対処方法等が見受けられないので、マニュアルを作成するなどの取り組みに期待したい。	虐待、不適切なケアがすぐに施設長まで報告がいくシステムにする。再発防止策の検討を施設全体で行い。虐待の起こった要因を探る。必要時は市へ連絡を行う。	虐待や不適切なケアを職員全員が理解し、そのような行為があった場合は、報告しやすい環境を作っておく。高齢者虐待の報告は施設職員全員の法律的な義務である事を周知する。	か月	
4					か月	
5					か月	

注1)項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。
注2)項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。
注3)外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。
注4)目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。